

I. 神奈川県内 a. 関東ローム層

(16) 富士宝永スコリア 露頭剥ぎ取り標本 (小山町湯船)

標本番号 KPM-NP 47

標本名 富士宝永スコリア 露頭剥ぎ取り標本

大きさ 幅 0.54 m, 高さ 1.62 m

重量 展示中のため不明

形状・展示・収納状況 板に固定した状態で常設展示
(神奈川展示室)

採集地 静岡県小山町湯船 (菅沼)

緯度・経度 N35°22'31", E138°57'55"

標高 460 m

露頭の種別と現状 不明

露頭面の向き、傾斜 不明

堆積物の種別 降下テフラ (陸成層)

年代 1707 年 (富士宝永テフラ)

採集作業 森山哲和 (考古造形研究所)

採集立会い者 今永 勇

採集日 不明

関連文献等

宮地直道 (1984) 富士火山 1707 年火砕物の降下及
ぼした風の影響, 火山 (第 2 集), 29: 17-30.

解説 標本は生命の星・地球博物館 3F 神奈川展示室で展示されている。標本採取場所の小山町菅沼は、富士火山宝永火口の東約 22 km にある。富士宝永 (F-Ho) テフラは、上下土壌層に覆われているとみられるが、ほぼ水平に堆積し、上面も不規則な侵食面はみられない。層厚も宮地 (1984) の層厚線図にほぼ相当する厚さであることから、保存のよい状態であると考えられる。ただし、Ho III と IV の境界は平滑ではない。

記録者 笠間友博

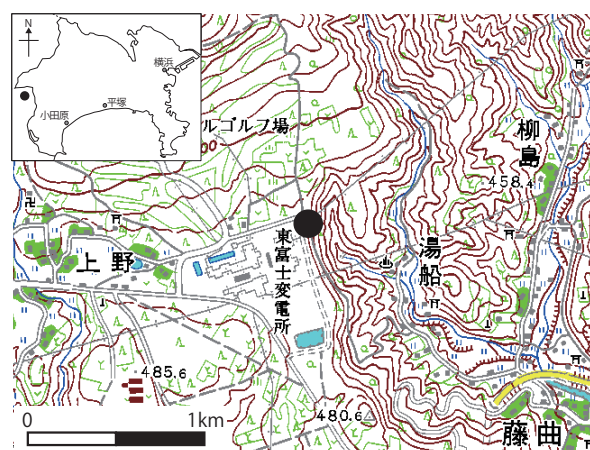
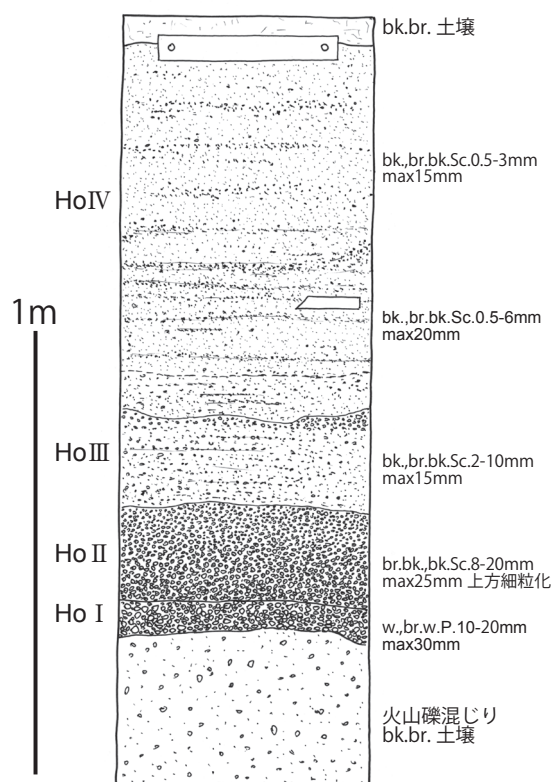


図 Ia-16-1. 採集地点 (国土地理院発行の数値地図 50,000 (地図画像)「埼玉・東京・神奈川」を使用)。



図 Ia-16-2. 剥ぎ取り標本のスケッチ (左, 笠間原図) と写真 (右, 神奈川展示室) (中村 淳氏撮影)。